

## I-14. 再生可能エネルギー地域推進体制構築支援

Supporting the Establishment of a Regional Structure to Promote Renewable Energies

<b>キーワード</b> <b>Key Word</b>	再生可能エネルギー、合意形成、事業マネジメント Renewable energy, Consensus Building, Program Management
---------------------------------	---

### 1. 業務の目的

本業務は、地域の関係者の参画を得ながら推進する再生可能エネルギー導入事業の計画策定及び事業実施のために創設される協議会等について、設立、運営に関する基本的事項をとりまとめるとともに、協議会等に参画して、制度、技術、財務等についての助言・指導や人材育成プログラムを実施し、事業の計画から創設、運営管理のために有効な再生可能エネルギーの地域推進体制を構築することを目的とするものである。

複数のシンクタンクや専門家の協働により本業務は推進されたが、当研究所は、業務の一環として実施の「地域主導による再生可能エネルギー事業化促進に係る自治体職員向け研修会」にて、合意形成に係る研修プログラムの開発と『自治体の役割と合意形成』と題するレクチャー及びワークショップを担当した。また、地域コーディネーター向けの研修会において、ロジックモデルを用いた事業マネジメントと合意形成に係る研修プログラムを開発、実施した。

### 2. 業務成果概要

#### (1) 業務の内容

業務内容は以下の通りである。

#### ① 自治体職員を対象とした合意形成に係る研修プログラムの開発及び実施

地域主導型で再生可能エネルギーを事業化する際の自治体の役割、自治体が取り組む課題について理解を深めることを目的に、全国7か所の会場にて、以下の内容の研修を実施した(当研究所は東京、仙台、岡山会場を担当)。

研修事項	概要
ワークショップ (ワールドカフェ方式)	直前の先進事例の講義を踏まえて、自治体から見た地域主導型再生可能エネルギー事業の意義、期待と課題などを洗い出す。 地域間の交流を図り、ネットワーク形成に資する。
講義 「自治体の役割と合意形成」	地域主導型再生可能エネルギー事業を推進するにあたっての自治体の役割と課題、合意形成及び場づくりの方法について講義する。
ワークショップ (オープンペーステクノロジー方式)	地域主導型の再生可能エネルギー事業に取り組む際の①自治体の役割及び地域の期待、②抱える課題(庁内連携など)について意見を出し合い、取組方策や解決方策を話し合う。 前段のワークショップの結果を受け、参加者が議論したいテーマを出し合い、希望するテーマごとにグループを編成して議論を実施、全体で共有する。

#### ② 地域コーディネーターを対象とした事業マネジメント及び合意形成に係る研修プログラムの開発及び実施

本研修プログラムは、地域コーディネーターが地域において協議会を設置・運営し、事業主体の形成を行う際に必要となる事業マネジメントの基礎や、地域住民などのステークホルダーとの対話を通じた合意形成を行う際に必要となる知識・スキルを習得してもらうことを目的として開発したものである。

具体的には、以下のような内容の研修を実施した。

研修事項	概要
講義及び演習 「合意形成の基礎」	合意形成を巡る基本的な事項(①合意形成とは何か、なぜ必要か、②合意形成に必要なステップと場のデザイン、③どのような方法があるのか、④どのようなことに留意する必要があるのか)について講義。講義内容を踏まえ、ロジックモデルを用いたステークホルダー分析(「各地域においてどのような人々とどのような合意形成を図る必要があるのか」がテーマ)の演習をワークショップ形式で実施。
地域コーディネーター間の知識交流ワークショップ「問題解決力を向上させよう！」 (オープンペーステクノロジー方式)	補助終了を見据えて、各地域が自立していくために、解決すべき本質的な課題は何か、それらの課題に対してコーディネーターとして取り組むべきことは何か(解決策)について、コーディネーター同士で議論を行い、地域にヒントを持ち帰ることが目的。ポストモダン・アプローチの1つであるオープンスペーステクノロジー(OST)をもとに、いくつかの手法を組み合わせる形で実施。